

理美容機器・医療機器のトップメーカーが メディカル部門で新規開発

事業内容

「美」と「健康」に関わる事業領域 圧倒的な技術力とシェアを誇るトップメーカー

1921年(大正10年)に合資会社宝鑄造所の商号で鑄物工場として設立した後、1931年に理容・美容部門に進出。それ以来、理容椅子や美容椅子はもちろん、シャンプー設備や促進器など、理容・美容関連の機器を幅広く製造・販売し、一貫して業界のリーダーとして新製品を他社に先駆けてリリースしてきた。また、これらに付随するかたちでヘアケア、スタイリング、カラー、パーマのヘアコスメティクス、エステティック、ネイル用品の各ブランドを市場に投入、販売している。

健康に関わるデンタル・メディカル部門では、デンタルユニットチェアなどの歯科用機器や医療用の各科目の診察台・検査台・手術台などの販売を手掛け、国内外の医師から高い評価を得ている。

設立時に扱っていた低圧電動油圧装置をベースとして理容・美容・医療分野の椅子、診療台で圧倒的な技術力とシェアを誇っている。同社を中心に主要関係会社が国内12社、海外14社、事業所では国内59ヵ所、海外23ヵ所(関係会社含む)の拠点を有し、国内のみならず海外シェアの拡大も進めている。

補助事業

高齢者の手術に適した 眼科用白内障手術台の開発

メディカル部門の眼科領域では、1994年に歯科用椅子を応用して白内障手術用の椅子を発売。以来、医師の要望を取り入れ、白内障手術専用の椅子型手術台として製品の改良を重ねてきた。例えば、フットスイッチの設置や枕の微細な角度の調整、病院向けに椅子を可動式にするなどの細かな要望も含めて市場の要望に応えてきた。

ただし従来機種は、白内障手術の主な患者となるお年寄りにとって全体的にサイズが大きく、椅子型で乗り降りは容易になったものの、椅子に座った後で適正な手術位置に移動させるために、看護師が2人掛かりで枕の位置まで持ち上げなければならなかった。

このような高齢の患者への配慮と医療スタッフの負担を軽減させるために、座面の奥行きなどサイズの見直しや、「背モトレ伸縮機能」、「背ズレの少ないリクライニング機能」など新しい機能を搭載した、高齢者の体型に適応した眼科用手術台の開発を進めた。



成果

眼科用手術台「MEPRO IV」を発売 患者や医療スタッフに配慮した機能が高評価

開発の過程では、試作時に市場での検証を繰り返し行ったことで当初の計画より遅れが出たものの、2015年1月から眼科用手術台「MEPRO IV(メプロ4)」の販売を開始した。

製品の特長として、低初高、座面の奥行きコンパクト化に加え、レッグレスト収納時に蹴込み部分を設けて容易に乗り降りができるなど、高齢の患者に配慮されている。ドクターに対しては、手術時に頭をしっかりとホールドする「左右分割式ヘッドレスト」、揺れが少なく、枕の傾起と伸縮が連動して自然な首の動きが得られる「ヘッドレスト機構」、白内障手術装置や顕微鏡のフットスイッチを置く足元スペースが広く確保できる「コンパクトな薄型ベース」がある。医療スタッフには、背モタレの長さが高齢者に合わせて設計されており、患者を手術位置まで持ち上げる負担を軽減し、高身長の場合にも対応が可能な「背モタレスライド機構」、手術室からの移動時に容易にキャスターが上下できる「電動キャスター昇降機構」がある。

白内障手術に関わる患者、ドクター、医療スタッフに配慮した機能が高く評価され、販売後6ヵ月で買替え需要を刺激して100台程度の販売実績を上げている。



今後の展開

国内市場での価値評価の実施と製品改良 海外市場に目を向けた事業展開

今回開発した眼科用手術台「MEPRO IV」は、国内の病医院を中心に、新規導入に加え、買替え需要を取り込むことにより販売数量を伸ばしていく考えである。納品後にヒアリングを行い、当初想定していた価値を提供できているかどうかの価値評価を実施し、製品使用後の問題点の改善を行いながら、製品の完成度を高めていく。

また、今回の成果を眼科だけでなく、同社が製品開発を行っている医療機器にも応用させ、さらなる機能レベルの向上を図る予定である。

会社全体の動きとしては、「理美容・医療業界の発展とお客様の繁栄に貢献する」という企業理念に基づき、自社の強みを活かした製品づくりに努めており、成長が期待できる海外市場に向けてコスト競争力を持った独自性の高い製品供給に注力している。中長期的には今回開発した眼科用手術台「MEPRO IV」もこの流れに乗せ、日本人と体型が似ているアジア市場に向けて海外展開も目指していく。

開発本部 医療機器開発グループ 山根 弘二
グループ長

タカラベルモントは、「美と健康」の面から人々の暮らしを支える企業として、製品を取り巻くすべての方の「心地よさ」を追求しております。診療を行う医師にとっては姿勢や体勢に無理なく施術が行いやすく、患者さんは心地よく治療が受けられるように心がけており、今回の製品では、白内障患者の多くが高齢者であることに着目して、高齢の方にやさしい手術台として、開発を進めました。

タカラベルモント 株式会社

代表取締役会長 兼 社長 吉川 秀隆
大阪市中央区東心斎橋2-1-1

TEL : 06-6211-2831

〈資本金〉3億円

〈従業員〉1,327人

<http://www.takarabelmont.co.jp/>

